

Y

2019年

第58回 全日本学生アーチェリー  
個人選手権大会

大会参加要項

全日本学生アーチェリー連盟

1. 主催 全日本学生アーチェリー連盟
2. 主管 関西学生アーチェリー連盟
3. 期日 2019年9月9日（月）～9月11日（水）
4. 日程 **9月9日（月） 《公式練習・開会式》**  
12：00～15：00 受付、用具検査、公式練習  
15：10～15：30 開会式  
\*昼食は公式練習時間の中に各自とってください。  
**9月10日（火） 《予選ラウンド》**  
08：45～09：15 RC男子 当日受付  
09：30～12：30 午前競技（RC男子70m）  
12：00～12：45 RC女子・CP男女 当日受付  
13：00～16：00 午後競技（RC女子70m・CP男女50m）  
**9月11日（水） 《イリミネーション～ファイナルラウンド》**  
08：50～ 公式練習  
09：20～ RC男子 1/16イリミネーションラウンド  
RC男女 1/8イリミネーションラウンド  
RC男女 1/4ファイナルラウンド  
RC男女・CP男子 セミファイナル

RC男女・CP男子 ブロンズメダルマッチ  
CP女子 ゴールドメダルマッチ  
CP男子 ゴールドメダルマッチ  
RC女子 ゴールドメダルマッチ  
RC男子 ゴールドメダルマッチ  
閉会式

※ 試合の進行状況によりタイムスケジュールに変更が生じる  
こともありますので、ご了承ください。

なお、練習レーンにつきましては、後日、全日学連HPにてお知らせいたします。

5. 会場 服部緑地 陸上競技場
- ・服部緑地  
〒561-0873 大阪府豊中市服部緑地1-1  
TEL : 06-6862-4945
- 交通
- <自動車>
- ・名神高速道路 豊中IC から約15分
  - 阪神高速11号池田線 豊中南出入口 から約15分
  - ・阪神高速11号池田線 豊中北出入口 から約15分
- <電車>
- ・北大阪急行 (御堂筋線直通) 「緑地公園」 駅から徒歩5分 (東中央広場まで)
  - ・阪急電鉄 (宝塚線) 曽根駅から徒歩20分 (西中央広場まで)

6. 競技種目
- リカーブ部門  
オリンピックラウンド 個人戦
- コンパウンド部門  
コンパウンドマッチラウンド 個人戦

7. 競技規則 全日本アーチェリー連盟競技規則 (2018年～2019年)

8. 参加定員

リカーブ部門

男子 定員 100名

東日本大会・西日本大会の上位各4名 8名  
各地区個人選手権大会優勝者1名 8名  
一般出場選手 (各地区個人選手権大会結果に  
基づく点数選考による) 84名

女子 定員 60名

東日本大会・西日本大会の上位各2名 4名  
各地区個人選手権大会優勝者1名 8名  
一般出場選手 (各地区個人選手権大会結果に  
基づく点数選考による) 48名

予選通過者：男子上位32名 女子上位16名

コンパウンド部門

男子 定員12名

一般出場選手 (各地区個人選手権大会結果に  
基づく点数選考による) 12名

女子 定員4名

一般出場選手 (各地区個人選手権大会結果に  
基づく点数選考による) 4名

予選通過者：男子上位4名 女子上位2名

9. 表彰

表彰は以下の表の通りとする。

部門	優勝	準優勝	第3位	第4位
男子RC	賞状・金メダル	賞状・銀メダル	賞状・銅メダル	賞状
女子RC	賞状・金メダル	賞状・銀メダル	賞状・銅メダル	賞状
男子CP	賞状・金メダル	賞状	賞状	
女子CP	賞状・金メダル			

10. 選手受付・用具検査について

- ① 大学の代表者の方は当日受付にて、選手受付をしていただき、競技者番号など

- の試合に関わるものが入った封筒とパンフレットをお渡しいたします。
- ② 用具検査では**会員証とバッジ**が必要となりますので、忘れずにご持参ください。やむを得ない事情により、用具検査に来られない方は、あらかじめ 全日本学生アーチェリー連盟 競技委員長 高野橋良篤 に連絡してください。相当の理由であると認められた選手についてのみ、特例として用具検査を別に行います。なお、無断での欠席は欠場となります。

## 11. 注意事項

大会期間中、会場が芝生養生機関になりますので、下記のことについてご協力願います。

。お

- ・ 競技場に立ち入る場合は、外来の有害な雑草を持ち込まない為、靴底の消毒・洗浄をお願いします。（試合当日は、競技場の入り口に消毒用のマットを配置します。）
- ・ 競技者、**競技役員・報道関係者**以外の芝生への立ち入りは禁止です。
- ・ 芝生には行射と矢取り以外での立ち入りを禁止とします。（行射時以外は、芝生後方

のテントで待機してください）

- ・ 芝生には弓具以外持ち込まないでください。（スコープは可。ただし毎エンドごとSLから下げて下さい。

- ・ 芝生内での飲食は禁止です。

- ・ 着衣ポケット内の小物の持ち込みは必要最低限にして下さい。

- ① 公式練習は各大学のユニフォームを着用してください。
- ② 開閉会式は各大学のユニフォーム又は制服で参加してください。
- ③ バッジ申請中の選手はバッジ報告書に「申請中」と記入してください。バッジ報告書は全日学連HPよりダウンロードできます。  
( <http://www.student-archery.jp/> )
- ④ 競技者番号はクィーバーにつけるよう、お願いいたします。
- ⑤ 競技場またはその周辺に関しましては、禁煙となりますのでお願いいたします。
- ⑥ ごみは各自持ち帰るようお願いいたします。

## 12. 連絡・質問先

全日本学生アーチェリー連盟 競技委員長 高野橋 良篤  
TEL 090-6935-3600  
PCメール ajsaf58.takanohashi@gmail.com

## 13. 費用

大会参加費 ￥5,500

## 14. 参加費納入について

出場選手の大学は、各地区学生アーチェリー連盟からの要請後、決められた期日までに各地区学生アーチェリー連盟に参加費を納入すること。その後、地区学連アーチェリー連盟は、**9月3日**までに参加費を納入すること。

## 15. 選手の心構え

- ① 選手は礼儀を尊び規律を遵守し、かつ他の参加者との友好親善に努める。
- ② アンチドーピングについて  
競技者は次の役割と責任を担う（全日本アーチェリー連盟 ドーピング防止規定第1. 3項）。
  - ・ ドーピング防止の方針および規則に精通し、これを遵守すること。
  - ・ 検体採取に応ずること。
  - ・ ドーピング防止と関連して、自己が摂取し、使用するものに責任をもつこと。
  - ・ 医師に、禁止物質および禁止方法を使用してはならないという自己の義務を伝え、自己に施される治療が、規則に従って採択されたドーピング防止の方針、規則に違反しないことを確認する責任をもつこと。

## 16. ドーピング検査について

- ・本競技会は日本アンチ・ドーピング防止規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ・本競技会参加者は、競技会にエントリーをした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。
- ・また、20歳未満である本競技会参加者のエントリーにおいては、上記のドーピング検査の実施について親権者の同意を得たものとみなす。
- ・選手は、写真付き身分証明証（学生証、自動車免許証、パスポート等）を持参すること（本人確認のため義務付けられている）。
- ・未成年者の参加に関して  
本大会参加にあたり、20歳未満の競技者は、世界アンチ・ドーピング規程、国際基準、日本アンチ・ドーピング規程により、検査対象となった場合のドーピング検査実施の同意ならびにその手続きに関し、競技者本人ならびに親権者が同意書に署名し提出することが必要となる。参加の確定した20歳未満の競技者は、同意書にそれぞれが署名、捺印の上、加盟団体を通し全日本アーチェリー連盟に親権者同意書を提出すること。又は大会当日持参し、開会式までに大会本部に提出すること。尚、同意書は一度提出すると、該当選手が成人するまで有効となるが、親権者が替わった場合は再度新たな親権者が同意書を提出することになる。  
なお、親権者同意書は全日本学生アーチェリー連盟ホームページにてダウンロードできる。（<http://www.student-archery.jp/>）
- ・本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。
- ・アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ・本競技会参加者は、競技前7日間に服用した医薬品、塗布、注射等医療行為を施したり、使用したもの（処方薬、売薬を問わない）および摂取したサプリメント類の名前と数量を記入したメモを携行することが薦められる。
- ・病気、けがなどの治療のため禁止物質や禁止方法を使っている場合、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）に対して、大会30日前までに「JADA・TUE申請書」を提出すること。
- ・競技会・競技会外検査を問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技／運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。  
※TUE：治療使用特例  
※疑問点は、JADAのホームページ参照。あるいは、全日本アーチェリー連盟に問い合わせること。
- ※日本アンチ・ドーピング規定の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト（<http://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。